

優秀賞

「いつもありがとう、お姉ちゃん」

岐阜県 郡上市立川合小学校 六年 丹下 花菜

私は、事情があつて、お母さんとお父さんと別々に暮らしています。今は、お母さんのお姉ちゃんに、私と妹のめんどうをみてもらっています。

お姉ちゃんは、私たちに優しく、おこつたり笑つたり心配したりしてくれるので、本当のお母さんみたいです。いつもおいしいご飯を作ってくれるし、どんなに疲れていても、そうじや買い物など、家のこともしてくれます。熱が出ると、家族とは別のご飯をわざわざ作ってくれます。約束もしっかり守ってくれるし、マーゴや川などにもつれていってくれます。私は、そんなお姉ちゃんが大好きです。いつも自分のことだけでなく、家族を大切に、しっかり支えてくれています。

そんなお姉ちゃんにも彼氏が出来ました。お姉ちゃんの彼氏は、私たちにもとても優しく、いろいろな所に遊びにつれていってくれました。そんな時、問題が起きました。それは、お姉ちゃんの結婚です。結婚するということには、私も妹も大賛成でした。お姉ちゃんは、結婚しても私たちのめんどうもみると言ってくれたけど、そうすると、美並にひっこさなくてはいけなくなります。お姉ちゃんには絶対に幸せになってもらいたいし、でも、ひっこしはしたくないし、とても悩みました。私は、お姉ちゃんに幸せになってほしいと思つたので、

「ひっこしてもいいよ。」

と答えました。だけど、本当は心の中で「行きたくない。」と思つていました。せつかく仲よくなった友達とはなれたくないし、新しい学校に変わるの不安でした。そんな時、「お姉ちゃん」は、二人の気持ちを一番に考えたいって言うてくれていたよ。」

と先生から聞きました。私はすぐうれしかつたです。自分の幸せが目の前にあるのに、私たちのことを一番に考えてくれたのです。何日も悩んだ結果、お姉ちゃんの彼氏が家に来てくれることになりました。お姉ちゃんは、本当はお嫁に行きたかつたのだと思うとちよつと心配だけど、正直、ひっこさずにすんでよかつたです。

しばらくして、お姉ちゃんは今具合が悪そうでした。心配していると、お姉ちゃんから「実は、赤ちゃんが出来たんだ。」

と聞きました。私は、びっくりしました。まさか、赤ちゃんが出来たとは思わなかつたからです。その頃のお姉ちゃんは、えらそうで見えられませんでした。だけど、今は安定して、十一月の出産をまつばかりです。私にも、新しい家族が増えます。お姉ちゃんが、私たちを本当の娘のように思ってくれているように、私も新しい生命を大切にしたいです。そして、これからもお姉ちゃんの手伝いをしながら、お姉ちゃんのように家族を大切にしていきたいと思ひます。

いつもありがとう、お姉ちゃん。